

編集委員	大槻 健郎, 刈部 博, 川村 昌司, 佐藤 博俊, 佐野 博高, 関口 悟, 山科 順裕, 山本 譲司, 板橋 智也, 倉嶋佳誉子, 酒井 宜子, 坂元健太郎, 千葉 健, 堀内 論, 若月 悠
査読委員	遠藤 薫, 近田 祐介, 渋谷 里絵, 寺澤 孝幸, 八田 益充, 福田かおり, 藤原 幾磨, 山本 多恵

### 編 集 後 記

仙台市立病院医学雑誌第41巻をお届けいたします。本巻では原著3編、症例報告7編、コメディカルレポート1編の計11編を掲載しています。昨年から続くコロナ禍で、日常診療業務がこれまでになく多忙化・複雑化していることもあり、今年度は前巻、前々巻より掲載編数は減少しましたが、いずれも力作揃いで、専門とする診療科以外の先生にも興味をもっただけの内容です。本誌を刊行できる環境を提供していただいた皆様に感謝いたしますとともに、学術活動をたゆまず続けておられる先生方にあらためて敬意を表したいと存じます。

2021年、真鍋淑郎博士が日本人としては2年ぶりにノーベル賞（物理学賞）を受賞しました。2000年以降の科学研究分野におけるノーベル賞の受賞者数は、米国に次いで我が国が世界第2位なのだそうです。『科学立国ニッポン』の面目躍如といったところですが、ノーベル賞は一部の例外を除けば「昔取った杵柄」に与えられるもの。現代の医学を含めた科学研究をとりまく環境は厳しく、研究成果も年を追うごとに寂しくなっているのが現状です。直近10年に発表された科学論文数は、世界全体では数倍に増加していますが、我が国はほぼ横ばい。先日、ドイツ脳神経外科学会との国際会議の際にもその点を指摘され、大変恥ずかしい思いをしました。世界的な発見や研究はすべて、小さな発見や研究の積み重ねがあつてこそ。本誌もその一端を担うべく、引き続き、質の良い論文を発表できる場を提供していきたいと思います。

(H.K.)

仙台市立病院医学雑誌

Vol. 41 2021

令和4年2月10日 発行

発行所 仙 台 市 立 病 院

仙台市太白区あすと長町 1-1-1

TEL 022 (308) 7111

発行者 亀 山 元 信

笹氣出版印刷株式会社 組版